

# 楽に買い物したくない？-筑波大学における移動スーパーについて-

班員：大野友伽里 芦田遥陽 影石結衣 島ノ江彩加 根本美里 宗野桂太 岡野圭吾 池田佳代

担当教員：吉野邦彦 TA：岡部寛

## 1. 研究背景

### 1-1. 学内での移動スーパーの実態

買い物弱者は主に過疎化や高齢化により買い物に行くことが困難な人のことを言い、近年日本各地で問題となっている。つくば市荃崎地区は新興住宅地が点在する一方で近くにスーパーなどがないうえ、地域住民の高齢化もあり買い物に行くことが困難となっている人が多かった。そのため、つくば市は買い物弱者支援活動の一環として 2012 年の 3 月から 3 年間の期限付きで(株)カスミに移動スーパーの実施を委託し、荃崎地区を中心に移動スーパーが開始された<sup>[1]</sup>。

しかし、カスミによる移動スーパー事業は 2014 年度時点で赤字であり<sup>[2]</sup>、2014 年の都市計画実習サステイナビリティ班によるカスミへのヒアリング調査によると事業が赤字であってもこの移動スーパー事業を続けていくと回答している<sup>[3]</sup>。現在、(株)カスミによる移動スーパーは開始後 3 年が経過したが、スーパーの少ない荃崎、広岡、洞下などの地域で継続されている<sup>[2]</sup>。また、つくば市内だけでなく、取手市や日立市においても実施されている。

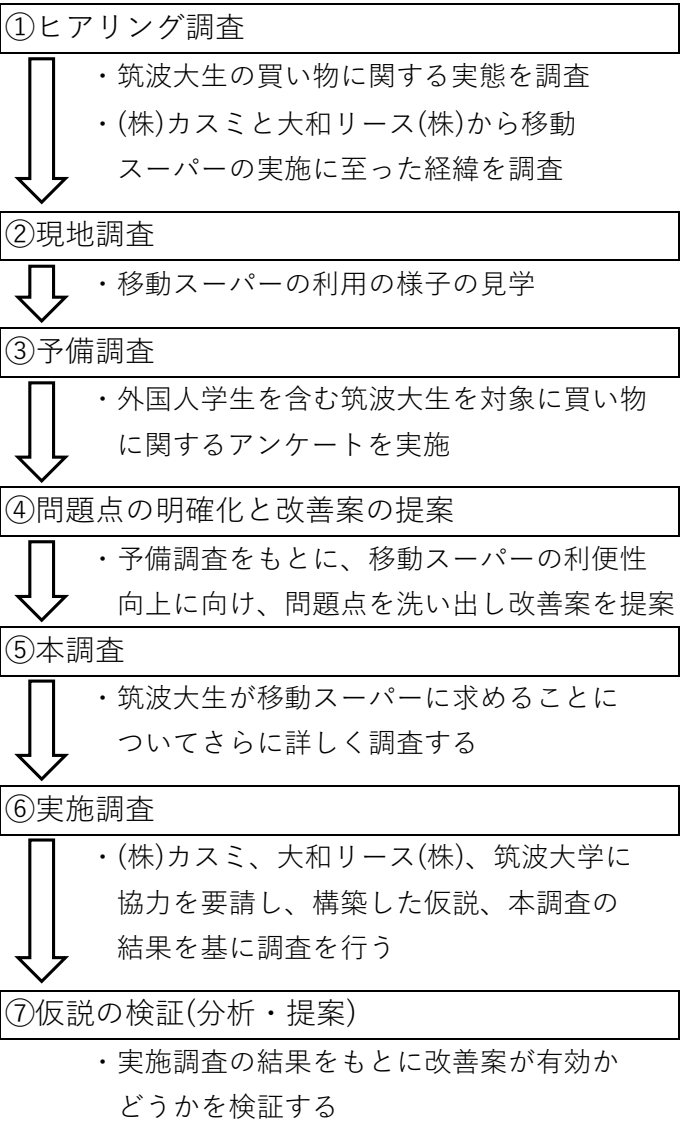
さらに、2017 年 4 月 15 日より、筑波大学の学生、特に外国人学生の生活の利便性向上のために、一の矢学生宿舍及びグローバルヴィレッジで(株)カスミによる生鮮食品の移動スーパーが開始された。毎週土曜日、一の矢学生宿舍で 11:00～12:00、グローバルヴィレッジで 12:10～13:10 の各 1 時間ずつ実施されている<sup>[4]</sup>。

本来、買い物弱者の為の移動スーパーが筑波大学内で実施されている事から、「筑波大学周辺は買い物が不便なのではないか」と考えた。

### 1-2. 研究の目的と方法

買い物に不便なのではないかと考えられる、筑波大学に在籍する日本人学生および外国人学生の買い物の利便性を高めることを目指し、移動スーパーを活用しやすくなるような方策を検討する。

以下の方法で研究を進める。



### 1-3. 筑波大生の買い物に関する予備調査

まず、筑波大生がどれだけ買い物に困っているのかや買い物に対する考え方を把握するため、大学構内各所において 14 名の学生に対して買い物に関する聞き取り調査を行った。その結果 13 名の学生が、スーパーが遠い、交通手段が自転車であるため大変など、買い物に不便を感じていることが分かった。筑波大生が買い物に不便を感じているという状況を改善するために、1-1.で述べた移動スーパーを活用できるのではないかと考えた。

### 1-4. 外国人学生の買い物に関する調査

筑波大学には外国人学生が非常に多く、平成 28 年 5 月 1 日時点で 2326 名が在籍している<sup>[5]</sup>。外国人学生は宗教上の理由により食べられないものがあることや、日本語表記の把握などにおいて日本人よりも買い物に関する困難が多いものと予測された。実際にインドネシアからの学生に実態を聞いたところ、ハラルフード<sup>[6]</sup>の入手が困難だという。ハラルフードを取り扱う店が大学の近くにはないため遠くまで買いに行かなければならないので大変だという。また、原材料などの英語表記もないため、アレルギーや宗教上の理由で食べることができない成分が入っているかの確認ができないことが大変だということだった。

## 2. 関係各所へのヒアリング調査

今年より始まった、筑波大学内での移動スーパーについて把握するため、関係各所へのヒアリング調査を行った。

### 2-1. 株式会社カスミ

筑波大学内での移動スーパーが開始されることになった経緯を知るため、移動スーパーを実施している(株)カスミに問い合わせを行った。その結果、大学宿舍の整備事業主である大和リース(株)からの依頼を受け開始したとのことであった。また、これまで行われてきた荃崎地区などでの移動スーパーの主なターゲットが高齢者であるのに対し、今回のターゲット層は学生であるため、取扱商品等で異なることがあるのかについて尋ねたところ、始まって間もないこともあり大学生のほしい商品が分からず、現時点では荃崎地区への巡回と同様の商品を主に、弁当を少し多めに積んでいるとのことであった。また、グローバルヴィレッジにおいての実施ということで外国人学生向けの工夫(ハラルフードの取り扱いや英語表記等)の有無を尋ねたが、特別対応はしていないとのことであった。

### 2-2. 大和リース株式会社

(株)カスミへの調査より大学宿舍の整備事業主であると分かった大和リース(株)は、大和リースグループの一員として 2015 年 5 月に「筑波大学グローバルレジデンス整備事業」を落札している<sup>[7][8]</sup>。  
大和リース(株)に問い合わせたところ、その整備事業

の一環として入居者の利便性向上のための取り組みが提案され、その中の一つとして(株)カスミに対して移動スーパーの実施を依頼したとの回答を得た。この事業は、グローバルヴィレッジと一の矢学生宿舍短期留学生用の 8 棟の管理が事業範囲となっている。そのため、これらのエリア内において移動スーパーが実施されている。また、移動スーパーの実施に関しては(株)カスミに全面的に業務委託しているとのことであった。

これらのヒアリング調査によって、筑波大学、大和リース、カスミの 3 者が以下の図 1 のように関わり、移動スーパーが行われていることが分かった。

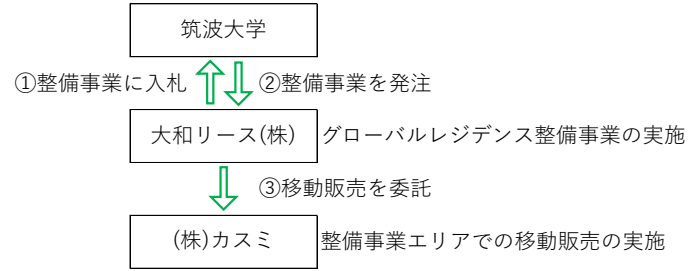


図 1:3 者の関係を模式化したもの

## 3.買い物の実態調査

ヒアリング調査の結果を踏まえて、実際に取り扱っている商品や利用者数、客層などを知るための現地調査と、一般的な学生の買い物事情を知るためのアンケート調査の 2 つの実態調査を行った。

### 3-1. 筑波大学内での移動スーパーの現地調査概要

移動スーパーの実情を知るために、4 月 22 日、29 日、5 月 6 日、13 日 4 回行った。調査内容は品揃えや客層の見学、利用とスタッフへの聞き取りをした。

### 3-2. 筑波大生に対するアンケート調査概要

学生の買い物実態を知るため Google フォームおよび紙媒体を利用してアンケート調査を実施した。日本人学生 227 名と外国人学生 59 名から回答を得た。調査項目は個人属性の他に普段の買い物に関して回答させる項目、移動スーパーについて回答させる項目を設けた。

## 4. 買い物実態の調査結果

これらの調査をもとに移動スーパーの現状と、その問題点を改善するための方策を調査した。以下では調査結果の内容とそれを基に移動スーパーの改善のために検討されうる改善策を示す。

#### 4-1. 現地調査についての結果

4月29日に現地調査をした際、来客数を確認したところ、一の矢では40名の来客があり、うち32名が外国人、グローバルヴィレッジでは17名が来店しほとんどが日本人であった。また、取扱商品を見たところ値段に関しては実店舗と差異がなかった。利用者は移動スーパーを便利だと感じている一方で、外国人の方は日本語表記がわからないと答えられた方もいた。

現状として、一の矢学生宿舎では買い物客の約8割を外国人の客が占めていたが、英語表記や英語対応できるスタッフはおらず、外国人には利用しにくい状態となっていた。

#### 4-2. アンケート調査についての結果

##### 4-2-1. 回答者の属性

回答者は男性176人、女性110人、学年は学群生1～3年生を中心に回答を得た。外国人学生は東南アジアや中国といったアジア圏からきている学生の方を主として回答を得た。

##### 4-2-2. アンケート結果概要

移動スーパーの認知度を聞いたところ、外国人学生、日本人学生共に半数以上が知らないと答えた。図2と図3は、移動スーパーを知っているにも関わらず実際には利用していない学生を対象に、利用しなかった理由を尋ねた結果である。

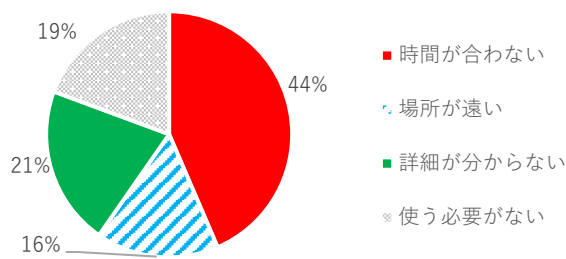


図2 知っていた人で利用しなかった理由  
(日本人学生n=62)

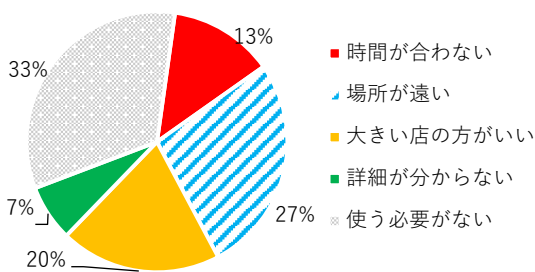


図3 知っていた人で利用しなかった理由  
(外国人学生n=15)

また、外国人学生に買い物で困っていることを聞いたところ図4のように6割の人が「日本語表記がわからない」ということを挙げた。

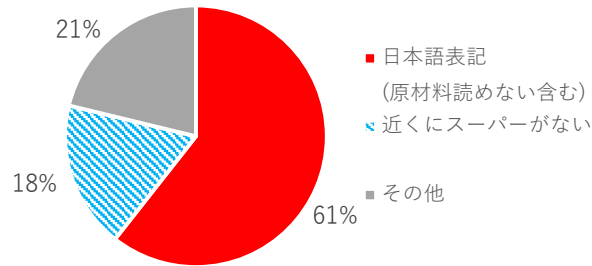


図4 買い物に関して困っていること  
(外国人学生n=33)

##### 4-3. 移動スーパーの問題点と原因の考察

日本人学生および外国人学生、両者ともに移動スーパーを知らないと答えた学生が半数を超えた。外国人学生の方がより認知度が低いのは、移動スーパーに関するチラシが日本語表記しかなかったためと思われる。また、利用しなかった理由を尋ねたところ、両者ともに、時間が合わない、場所が遠い、詳細が分からないという意見が多く見られたことから、学生の利用しやすい時間・場所ではないこと、認知度が低いことが現在の問題であると考えられる。さらに、現地調査の結果とアンケート調査の結果で日本語が分からないと答えた外国人学生が多かったことから、現時点での主なターゲットである外国人学生にとって不便であることも問題である。

#### 5. 移動スーパー改善に向けて検討されうる仮説

##### 5-1. 販売時間の変更

図5はどの時間帯であれば移動スーパーを利用しやすいか尋ねた結果である。18時から21時頃が利用しやすいという回答が最も多く、現在移動スーパーが実施されている11:00～12:00、12:10～13:10の時間に関しては希望が多くないことが分かった。この結果を見ると18時から21時が最も利便性が高いと思われる。

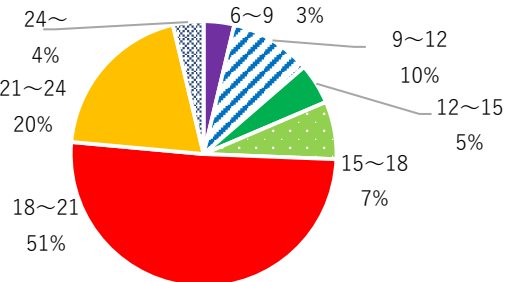


図5 販売時間希望  
(日本人・外国人学生n=233)

##### 5-2. 販売場所の変更

現在は、大和リース(株)の委託により実施されている。そのため、大和リースの管理する宿舎の入居者の利便性のみが考慮されているという背景がある。今後、移動スーパーの利便性を向上するため、より多くの学生の利用しやすい場所を検討する必要がある。例えば、各宿舎の共用棟前や、多くの学生が行きかう石の広場周辺、大学会館周辺などが検討する必要がある。

##### 5-3. 英語表記の導入

アンケート調査および聞き取り調査で外国人学生が日本語表記しかないことや原材料が分からないことに困っていると明らかになった。これらを解決するためには商品名、原材料の英語表記を増やすこと英語の話せるスタッフの配置などの案が考えられる。

#### 6. 結論と最終発表に向けての計画

4月から大学内での移動スーパーが始まったこと、買い物に不便を感じている学生がいる、ということを知り、この移動スーパーを生かし、筑波大生の買い物に対する不便さを少しでも解消できないかと考えた。

具体的に筑波大生は買い物のどのような点に不便を感じているのか、どのようなことを移動スーパーに対して求めているのかを知るため、アンケート調査を行った。アンケート調査から、日本人学生はスーパーの遠さに不便を感じており、外国人学生は日本語表記が読めないことやハラルフードが手に入りにくいことなどに不便を感じていると分かった。また、移動スーパーに関しても改善すべき問題点を見つけた。

今後は、最終発表に向けて、移動スーパーを改善する時間や場所、英語表記、商品について詳しく検討する必要がある。

販売時間に関して、18時から21時が最も来客数を見込むことができる。しかし、具体的にその時間帯の中のどの時間か、曜日ごとにどのような変化があるのか、時間と場所の関係など調査しなくてはならない。

販売場所に関して、予備調査では現在の場所、共用棟前、その他(記述)の選択肢で質問したがその他場所についても、具体的にどこがいいのかをアンケート調査を通して検討する。その際、この事業が大和リース(株)によって実施されていることを考慮する必要がある。

取扱商品に関しても、学生が必要としているもの、移

動スーパーの強みを活かして取り扱えるものがないかを検討していく。

これらの調査結果をもとに、(株)カスミや大和リース(株)、筑波大学に協力を要請し、認知度の改善のためのビラ配り、英語の値札を作ってみるなど、改善のための提案が実際に有効かどうか検証したい。

また、実現可能性も検討しなくてはならない。上記のとおり場所や時間を検討することで採算をとれるようにできるのかといった金銭的な面や茎崎なども回っていることから移動販売車の運用の面での十分な検討、さらには今年より大学内で始まった移動スーパーは大和リース(株)の事業の一環であることもあるため慎重に検討していく必要がある。

#### 7. 謝辞

以下の方々にヒアリング、アンケート調査にご協力いただいた。謝意を表す。

- 1) 株式会社カスミ 宅配事業推進部
- 2) 大和リース株式会社 水戸支店  
企画建築営業所 営業一課 佐藤栄三様
- 4) システム情報系 社会工学域 渡辺俊先生
- 5) システム情報系 社会工学域 倉田久先生
- 6) 筑波大学 学生生活課

#### 8. 参考文献

- [1] 「(株)カスミによる移動スーパーの実施について」  
([https://www.city.tsukuba.ibaraki.jp/dbps\\_data/\\_material/\\_files/000/000/014/783/No320.pdf](https://www.city.tsukuba.ibaraki.jp/dbps_data/_material/_files/000/000/014/783/No320.pdf)) 2017年5月10日アクセス
- [2] (株)カスミより頂いた移動スーパーに関する資料
- [3] 「都市計画実習 最終レポート」サステナビリティ班
- [4] 筑波大学ホームページ「学生宿舎向け移動スーパーの運用を開始」  
(<https://www.tsukuba.ac.jp/news/n2017042251320.html>) 2017年5月10日アクセス
- [5] 筑波大学ホームページ「外国人学生在籍数」  
(<https://www.tsukuba.ac.jp/admission/overseas.html>) 2017年5月10日アクセス
- [6] 全国大学生活協同組合連合会ホームページ「ハラルフードについて」  
(<http://www.univcoop.or.jp/activity/foreign/vol06.html>) 2017年5月10日アクセス
- [7] 「筑波大学グローバルレジデンス整備事業における落札者の決定について」  
([http://www.tsukuba.ac.jp/public/office/20150501gr\\_rakusatukettei.pdf](http://www.tsukuba.ac.jp/public/office/20150501gr_rakusatukettei.pdf)) 2017年5月10日アクセス
- [8] 「筑波大学グローバルレジデンス整備事業 入札説明書」  
(<http://www.tsukuba.ac.jp/public/office/20150108gr3setumei.pdf>) 2017年5月10日アクセス